【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】平成17年4月14日(2005.4.14)

【公表番号】特表2004-511193(P2004-511193A)
【公表日】平成16年4月8日(2004.4.8)
【年通号数】公開・登録公報2004-014
【出願番号】特願2002-532356(P2002-532356)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０２Ｋ　19/10
　Ｂ０２Ｃ　13/14
　Ｂ０２Ｃ　13/30
　Ｂ０２Ｃ　18/40
　Ｈ０２Ｋ　 3/04
　Ｈ０２Ｋ　 3/44
　Ｈ０２Ｋ　 7/14
【ＦＩ】
　Ｈ０２Ｋ　19/10　　A
　Ｂ０２Ｃ　13/14　　Z
　Ｂ０２Ｃ　13/30
　Ｂ０２Ｃ　18/40　　A
　Ｈ０２Ｋ　 3/04　　D
　Ｈ０２Ｋ　 3/44　　B
　Ｈ０２Ｋ　 7/14　　C

【手続補正書】
【提出日】平成15年6月4日(2003.6.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
食品生ごみを受け入れる入口と、
前記食品生ごみを粉砕するために回転可能なシャフトに連結された粉砕板と、
前記シャフトを駆動操作可能なスイッチトリラクタンスモータと
を具備する、食品生ごみ処理機。
【請求項２】
前記スイッチトリラクタンスモータは、その中に配置された複数の固定子磁極を有する固定子を含み、前記固定子磁極は各々第１の金属箔層からなる巻線を備えている、請求項１に記載の食品生ごみ処理機。
【請求項３】
前記スイッチトリラクタンスモータは、中心軸を有する固定子を含み、且つ前記中心軸に沿うコアを定義する巻線をさらに含む、請求項１に記載の食品生ごみ処理機。
【請求項４】
前記コア内に、シャフトが配置された、請求項３に記載の食品生ごみ処理機。
【請求項５】
前記スイッチトリラクタンスモータは、前記シャフトに連結された回転子をさらに具備し、且つ前記回転子は、複数の回転子磁極を備える、請求項４に記載の食品生ごみ処理機。

【請求項６】
前記回転子磁極は、前記中心軸から放射状に且つ前記巻線上に延び、そして前記回転子磁極は、前記巻線からエアギャップにより間隔が空けられている、請求項５に記載の食品生ごみ処理機。
【請求項７】
前記巻線は、前記中心軸に平行な軸の周りに巻装されている、請求項６に記載の食品生ごみ処理機。
【請求項８】
前記粉砕板は、前記回転子に機械的に結合されている、請求項５に記載の食品生ごみ処理機。
【請求項９】
食品生ごみを受け入れる入口と、
モータであって、
中心軸を有し且つ巻線を含む回転子、および
前記中心軸から放射状に且つ前記巻線上に延びる回転子磁極であり、該回転子磁極は、前記巻線からエアギャップにより間隔が空けられている回転子磁極を有する固定子、を備えるモータと、
前記食品生ごみを粉砕するために前記回転子に連結された粉砕板と、を具備する食品生ごみ処理機。
【請求項１０】
前記巻線は、前記中心軸に沿うコアを定義する、請求項９に記載の食品生ごみ処理機。
【請求項１１】
前記回転子は、前記コア内に配置されたシャフトに連結された、請求項１０に記載の食品生ごみ処理機。
【請求項１２】
前記巻線は、第１の金属箔層からなる、請求項７または９に記載の食品生ごみ処理機。
【請求項１３】
食品生ごみを受け入れる入口と、
前記食品生ごみを粉砕するために回転可能なシャフトに連結された粉砕板と、
前記シャフトを駆動操作可能なモータであって、該モータは、複数の固定子磁極を有する固定子を有し、且つ前記固定子磁極は、各々、第１の金属箔層からなる巻線を備える、モータと
を具備する食品生ごみ処理機。
【請求項１４】
固定子は中心軸を有し、且つ前記巻線は、前記中心軸に沿うコアを定義する、請求項１３に記載の食品生ごみ処理機。
【請求項１５】
前記シャフトは、前記コア内に配置された、請求項１４に記載の食品生ごみ処理機。
【請求項１６】
前記巻線は、前記中心軸に平行な軸の周りに巻装されている、請求項９または１４に記載の食品生ごみ処理機。
【請求項１７】
前記モータは、前記シャフトに連結された回転子をさらに具備し、且つ前記回転子は、複数の回転子磁極を具備する、請求項１３に記載の食品生ごみ処理機。
【請求項１８】
前記固定子は、中心軸を有し、且つ前記巻線は、前記中心軸に沿うコアを定義する、請求項１７に記載の食品生ごみ処理機。
【請求項１９】
前記回転子磁極は、前記中心軸から放射状に且つ前記巻線上に延び、そして前記回転子磁極は、前記巻線からエアギャップにより間隔が空けられている、請求項１７に記載の食品

生ごみ処理機。
【請求項２０】
前記粉砕板は、前記回転子に結合されている、請求項１９に記載の食品生ごみ処理機。
【請求項２１】
前記第１の金属箔層は、両側において絶縁されている、請求項２、請求項１２および、請求項１３のいずれか一項に記載の食品生ごみ処理機。
【請求項２２】
前記第１の金属箔層に連結されているが、該第１の金属箔層から絶縁されている第２の金属箔層をさらに含む、請求項２、請求項１２および、請求項１３のいずれか一項に記載の食品生ごみ処理機。
【請求項２３】
前記固定子は、前記巻線を支持する形状を有する基板をさらに具備する、請求項２、請求項１２および、請求項１３のいずれか一項に記載の食品生ごみ処理機。
【請求項２４】
前記回転子は、前記コア内に包含されていない、請求項５または１７に記載の食品生ごみ処理機。
【請求項２５】
前記固定子は、シールにより保護されている、請求項８、請求項９および、請求項１３のいずれか一項に記載の食品生ごみ処理機。
【請求項２６】
前記シールは、前記巻線を被覆するプラスティックを備える、請求項２５に記載の食品生ごみ処理機。
【請求項２７】
前記巻線を選択的に付勢するための制御回路をさらに具備する、請求項２、請求項９および、請求項１３のいずれか一項に記載の食品生ごみ処理機。
【請求項２８】
前記モータは、スイッチトリラクタンスモータである、請求項９または１３に記載の食品生ごみ処理機。